



あす
子や孫の未来へ 常にチャレンジ!

神奈川県議会議員

芥川かおる



き らめく座間の未来のために!
ず っと変わらない姿勢!
な るほど県政!



— 県政レポート — 令和7年1月 第35号

令和6年第3回定例会

本会議

11月28日(木) 自民党代表質問

▼物価高騰対策について

―質問―

国の新たな総合経済対策と連動し、追加交付される見込みの重点支援地方交付金を活用するなどして、県としても引き続き対策を講じるべきだと考える。

そこで、国の新たな総合経済対策の策定を受けて、県として、今後、物価高騰対策をどのように進めていくのか見解を伺う。

―知事答弁―

現在の物価高騰の状況を見ると、消費者物価指数は上昇

率は鈍化しているものの高止まりしており、実質賃金2カ月連続でマイナスとなるなど、依然として県民生活に大きな影響を与えている。

そうした中、国が策定した新たな総合経済対策において、地域の実情に応じたきめ細やかな物価高騰対策が実施できるよう、重点支援地方交付金が追加された。

今後、国から交付金の追加交付の規模等が示され次第、補正予算の編成に向けて、事業者に対する光熱費等の直接

的な支援の継続をベースに本県としての取り組みを検討していきたいと考えている。

県では、こうした補正予算により、県民生活や事業活動を守るため、物価高騰対策にしっかりと取り組んでいく。



―質問―

今後は、新たな農業の担い手が迅速に栽培技術を習得して、一日も早く経営を確立できるようにするため、これまで以上の取り組みが必要だと考える。

そこで、農業の担い手の確保と技術の継承について、どのように取り組んでいくのか見解を伺う。

―答弁―

新規就農者に対して、巡回指導や講習会などにより、技術習得の指導を行っている。しかしながら、農業の栽培技術には数値化やマニュアル

▼農業の担い手の確保と技術継承について



化が難しい、経験や勘などに基づく、いわゆる「匠」の技が多いため、その習得や経験の確立に時間がかかり、新たな農業者が参入するときの障壁にもなっているという課題がある。

そのため、これまで農業技術センターでは、作業を単純化できる果樹のジョイント栽培技術の開発や、温度や湿度等を自動制御するスマート技術を活用したトマトの栽培マニュアルの作成など、経験や勘などに頼らない技術開発に取り組んできた。

今後は、ブドウの房を美しく整える技術のような、「匠」の技を初心者でも速やかに習得できるようAIを活用した学習システムの開発に取り組んでいきたい。

また、指導の効率化に向けて、スマートグラスなどで生産者の視覚情報を共有し、遠隔地から指導する手法の活用についても検討していく。

これらのデジタル技術も取り入れながら、新規参入を促して担い手を確保するとともに、早期の経営確立に向けた迅速な技術継承を支援していく。

謹賀新年

令和七年



県民の皆様とともに新年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。皆さまには健やかで素晴らしい1年となるよう、私も県議会において尽力させていただく所存です。

昨年は、元日に発生した能登半島地震、9月の能登半島豪雨と、度重なる自然災害により、多くの尊い命が失われました。厳しい寒さの中で、今なお避難所生活を強いられている方々にお見舞いを申し上げると共に、一日も早い復興を願っております。

さて、今年度は議会運営委員会の委員、予算委員会では副委員長を務めさせていただいております。

常任委員会では、福祉や医療関係を所管する厚生常任委員会に所属し、高齢化の進展を背景とした社会課題の解決に向け、専門的な議論を重ねています。

長年の経験をついたお年寄りは社会の宝であり子どもたちは未来を担う大切な存在です。お年寄りがイキイキと暮らし、子どもたちが不安なく成長する環境づくりは持続可能な社会の発展において不可欠だと考えております。

「初心忘れるべからず」を肝に銘じ、市議時代からの「即行動」「現場主義」の政治姿勢を貫き、県民、市民の皆様と共に日々、笑顔で過ごせるよう努めてまいります。



令和6年第3回定例会

厚生常任委員会質疑

▼保育士確保について

―質疑―

保育士確保の取り組みについて伺う。

―答弁―

まず、新規保育士の確保として平成27年度から「神奈川県独自地域限定保育士試験」を実施しており、令和5年度までに4383名合格をしている。

また、潜在保育士の復職支援の取り組みとして、平成25年度に「かながわ保育士・保育所支援センター」を設置し無料で職業紹介等を行っており、昨年度は86名が現場復帰を果たした。

さらに、現任保育士の就業継続支援として、処遇改善のほか、保育補助者の活用などによる負担の軽減を行っている。

―質疑―

次に、先の第2回定例会において保育士配置基準を定めた条例が改正され、3〜5歳児の基準が引き上げられた一方で0〜2歳児の配置基準は改正が見送られたが、保育の質の向上のためにさらなる改善が必要だと考えるが、見解を伺いたい。

―答弁―

昨年12月に国が策定した「こども未来戦略」では、1歳児の保育士の配置基準について、「2025年以降、早期に6対1から5対1への改善を進める」と記載がある。

また、今年8月に公表された国の動向や県内の保育士不足の状況、これまでの取り組みの成果など踏まえて対応を検討していく。

―質疑―

配置基準の改善に加え、令和8年度には「こども誰でも通園制度」が全市町村で開始することが予定されているが、今後さらに保育士確保に力を入れていく必要があると思う。

本会議で答弁があった潜在保育士の復職支援について、今後どのように取り組むのか。

―答弁―

県で保有している保育士登録簿を活用してアンケートを送り、それぞれの保育士に現在の就職状況や、もし働いていなければ再就職の希望があるか、といったアンケートを実施して調査をしたいと考えている。

―質疑―

県内の潜在保育士はどのくらいいるのか。

―答弁―

約8・4万人いると推計している。

―質疑―

復職していただくために、支援として何を重視するのか。

―答弁―

令和4年度のアンケート調査では、「収入」が一番、その次に「職場の雰囲気」となっている。「職場の雰囲気」とは、具体的には園の運営方針や園長や主任の保育に対する考え方、職場の人間関係などを重要視していると考えられる。

今後は、潜在保育士が就職前にあらかじめ職場の雰囲気を確認できるような方法を検討し、復職時の不安を軽減したいと考えている。

また、今年8月に公表された国の動向や県内の保育士不足の状況、これまでの取り組みの成果など踏まえて対応を検討していく。

―質疑―

離職防止のために、市町村との連携や意見交換を行っているのか。

―答弁―

全市町村が参加する保育対策協議会で、保育について考える市町村と県との会議体を持っている。その中で必要だと思われるものをその翌年度、事業として実施していくという形で連携をしている。

―質疑―

最後に、保育所の運営費の算定基準のひとつである国家公務員の給与について、8月の人事勧告では、地域区分を市町村ごとから都道府県に広域化するとしている。保育所の公定価格も同様に県内一律の単価となれば、市町村ごとの運営費に格差はなくなると思うが、国の検討状況を教えてください。

―答弁―

国は国家公務員の制度をそのまま適用するのではなく、地域格差を解消するための保育所独自の補正ルールを設けている。

こうした中、国家公務員の地域手当については、8月の人事員勧告では、市町村単位から都道府県単位に広域化され、8つの区分が5段階とされている。

国へ意見書

公立学校の体育館への空調設備助成制度の拡充を求める

近年、全国的に災害とも言える夏の猛暑が続く中、空調設備の整備がされていない体育館及び武道場では、熱中症など命に関わる事故が起こる可能性もあり、今後、児童、生徒が健康で安全に活動できる教育環境を適切に維持するため、空調設備の整備が喫緊の課題であります。

また、公立学校の体育館等は、災害時に避難所としての活用も想定されることから、避難生活を送る県民の健康や安全を守るためにも早急に、空調設備の整備を進める必要があります。

そのため、国会、政府へ、教育現場において早急な対応が求められている公立学校の体育館等への空調設備整備を促進するため、学校の施設環境改善交付金及び空調設備整備臨時交付金において、次の事項を速やかに実現されるよう、強く要望しました。

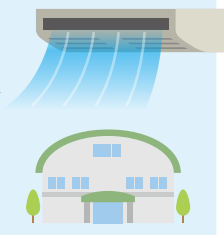
【1】補助率の更なる引き上げを行うこと
【2】リース契約を補助対象に加えるとともに、断熱化の要件を緩和すること
【3】高等学校等の体育館等への空調設備整備についても補助対象とすること

今後保育所の公定価格の地域区分についても、都道府県単位で区分が設定されるのか、また、先ほど申し上げた独自の補正ルールを設けるのかどうか、そういったことは現時点では詳細な情報が明らかになつていない状況なので、今後、国の動向を注視しながら対応を検討していきたいと考えている。

―要望―

待機児童ゼロの目標も大事だが、保護者の方が安心して子どもを預けられ、そして保育の質を高めていくことも重要であり、保育環境を整備することも重要である。

保護者が育児中にもキャリアを継続することができ、夫婦で働いていける環境を作ることで所得が増え、消費拡大



芥川かおる政務活動事務所

発行

新事務所に移転しました。
どうぞお気軽にお立ち寄りください！

〒252-0021 神奈川県座間市緑ヶ丘1-3-17
TEL 046-244-0281 FAX 046-244-0481

オフィシャルサイトー絆ー <https://akutagawakaoru-kizuna.jp/>



芥川かおる 新春の集い

日時 令和7年2月16日 14:00～
場所 鈴鹿明神社 参集殿
問合せ 芥川かおる事務所 TEL 046-244-0281

